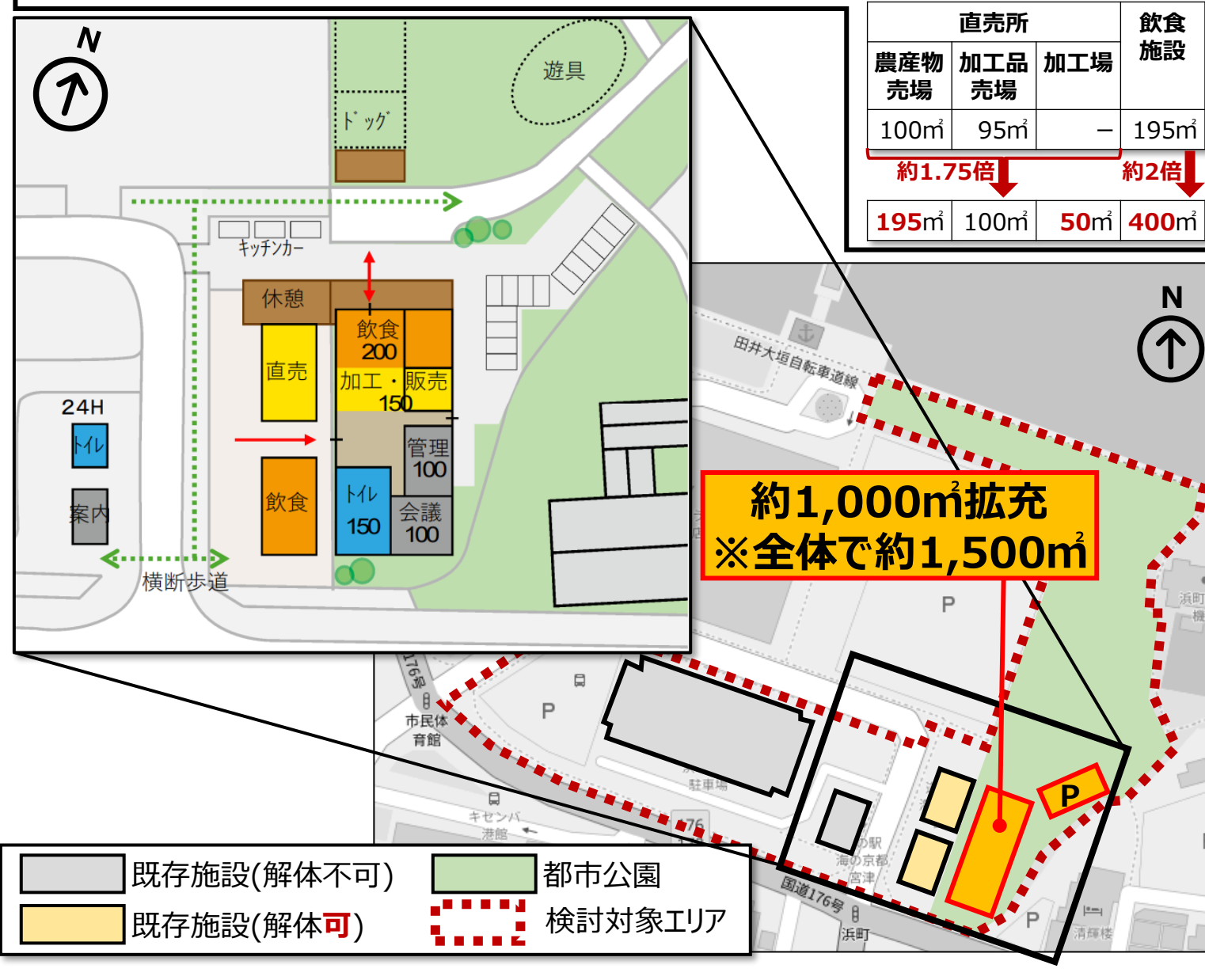


道の駅の方向性取りまとめに向けた検討状況・見通し

- 前段のテーマ・コンセプト等を基に、道の駅の方向性取りまとめに向けた検討（標準的な施設規模・配置（例）、事業スキーム）を進めています。
- 民間事業者の活力（アイデア・ノウハウ）発揮により、いくつかの規模・配置が想定される中で、**交通量等から期待できる年間利用者数の増加への対応等を考慮すると最もシンプルな道の駅の拡充の例でも現在の施設規模の約3倍（1,500㎡）が想定**されます。また、事務局で検討した**事業スキームの仮説**については、**道の駅の管理運営実績等を有する企業等から概ね前向きな意見**を得ることができています。
- 一方で「芝生に施設を整備して問題ないか」等、民間事業者との意見聴取等を経て市として検討が必要な**宿題**も生じました。次回の第4回検討委員会での道の駅の方向性取りまとめに向けて事務局にて検討を進めていきますが、**当該検討に対するご意見（留意して欲しい事項など）があれば、本日お示し頂きたい**と考えております。

■ 標準的な施設規模・配置（例）の検討状況

- 道の駅拡充の方向性を見定めるため、**施設規模・配置(例)の検討**も進めています。
- 民間事業者の活力発揮により、いくつかの規模・配置が想定される中で**最もシンプルな道の駅の拡充の例**（既存施設に増築する例）を以下に示しています。
- 交通量等を踏まえると、**現在の施設規模の約3倍（約1,500㎡）が想定**されます。また**直売所・飲食施設は少なくとも倍程度の拡充が必要**と見込んでいます。



■ 事業スキームの検討状況

- 民間事業者に委ねる業務範囲や事業期間等の**仮説を検討**しました。

Q. 民間事業者が担う役割は？

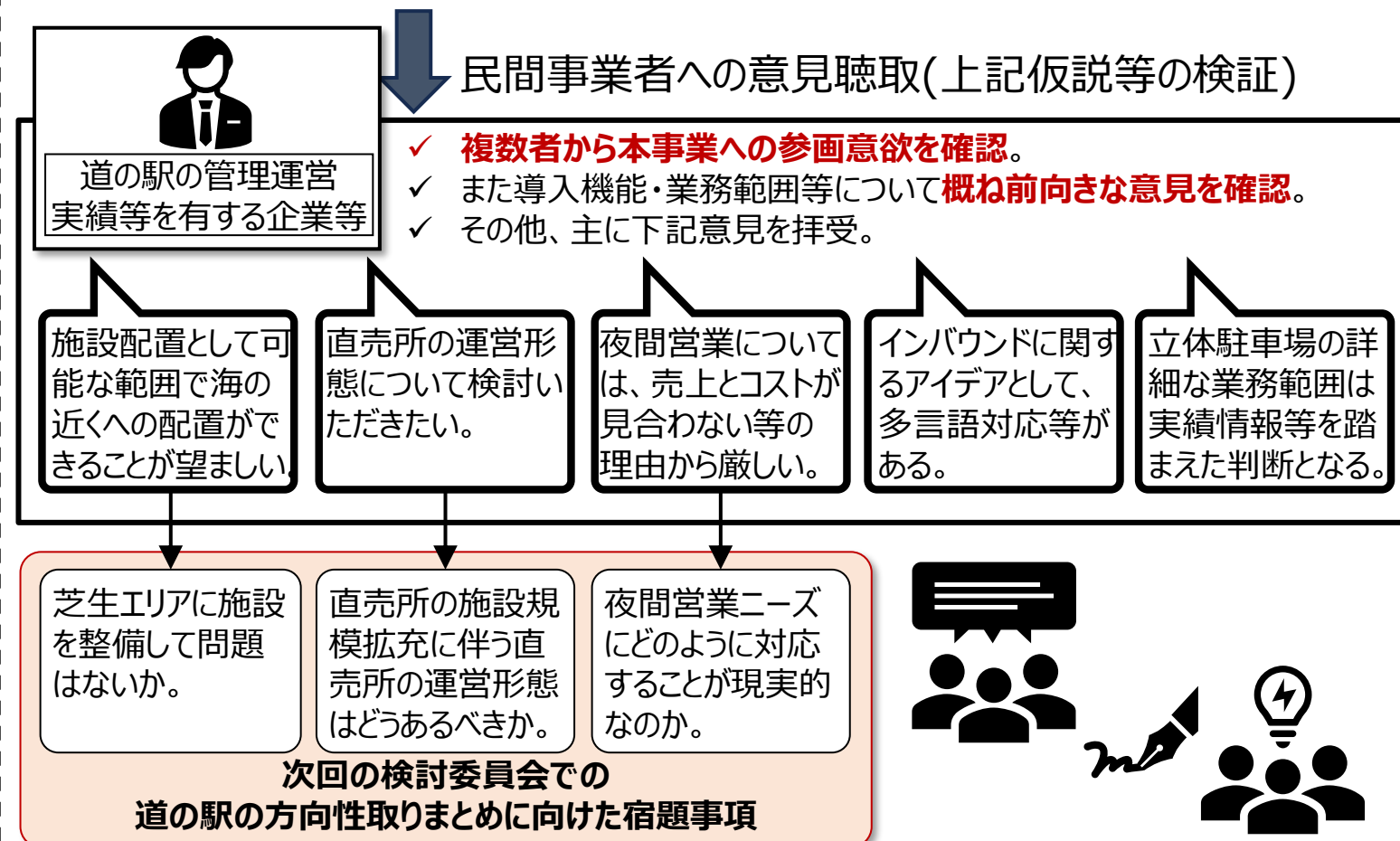
設計(Design)・建設(Build)、維持管理・運営(Operate)を一括して担うDBO方式を想定。
 ※現在の道の駅に導入している**指定管理者制度も継続して適用する想定。**
 ※立体駐車場も含めた一体的な管理運営の可能性も模索する想定。

Q. 市の財政負担は生じるのか？

施設設計・建設費や収益のない機能の維持管理・運営費については市から対価を支払う想定。
 直売所・飲食施設の維持管理・運営は民間事業者が得る収益で賄っていただく想定。

Q. 何年間の事業？

設計・建設期間：2年を想定。
 維持管理・運営期間：15年を想定。



上記宿題事項等を検討した最終案を**次回の検討委員会にて報告し、道の駅の機能拡充の方向性を取りまとめいただく予定。**

- 交通量等を踏まえると**年間利用者数の増加等の効果も期待できる**
- 【一定の仮定を置いた試算結果】・利用者数：現在14万人/年⇒将来予測約40万人/年
 ・売上：約5億円/年
 ・利用者増加に伴う地域産業への波及効果：約6億円/年